

限界集落化が進む集落における、空き家を活用した新たな生業創出事業（株式会社NOTE）

課題	南丹市美山町鶴ヶ岡地区を中心に、地域に点在する空き家（古民家）が増え続けている。同時に地域内の店舗減少や地域活動の担い手不足が深刻化している。
目的	空き家の資源としての利活用を軸として、地域の団体・企業・行政機関・金融機関と地域外の参画企業等を巻き込みつつ、新たな生業を創出する。
取組内容	①地域の空き家活用に関する意識を向上させるための施策実施 ②新たな生業創出に繋げるための、地域と連携したまちづくりビジョンの作成 ③新たな生業となる事業計画の策定、その計画を実行するための新規法人の組成
成果	①地域でのセミナー開催や有志による先進地視察を実施 ②複数回のワークショップを開催し、空き家を活用したまちづくりビジョン完成 ③空き家活用平面図作成、実行可能な事業計画の策定完了、新規法人の体制確定

成果①

鶴ヶ岡住民を対象として、空き家活用セミナーや有志による先進地視察を実施を行った。
空き家に対して除却だけでなく利活用という考え方があることへの啓蒙に繋がれた。



空き家活用セミナーの様子

成果②

複数回のワークショップを開催し、空き家を活用したまちづくりビジョンを作成した。ワークショップの中で地域内の候補を含む空き家情報の掘り起こしも行い、今後の活用に繋がれることとなった。



ワークショップの様子

成果③

活用する空き家3棟を特定し、それらの空き家活用平面図の作成、実行可能な事業計画の策定、新規法人の体制確定を行った。



空き家活用平面図